

Aに16ステップのリズム・パターンが書き込まれているとき、Bに12ステップのリズム・パターンを書き込もうとすると、ステップ数をセッした時点でAも12ステップにセットされてしまうのでご注意ください。このときは、もう一度16ステップにセットすると元に戻ります。

裏拍の入力

[MENU/SUB STEP] ボタンを押しながら STEP NO [1] ~ [16] ボタンを押すと、1/2ステップ後ろにズレた位置に音を入力できます。

インスト別の書き込み

音を鳴らしたいステップを、STEP NO [1] ~ [16] ボタンで指定します。

※ 各インストのつまみやスイッチの位置は記憶されません。

9. セレクト・スイッチでインストを選びます。

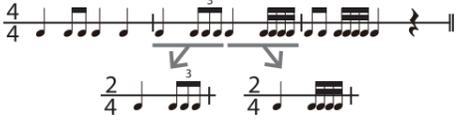
10. 音を鳴らしたいステップを、STEP NO [1] ~ [16] ボタンで指定します。

11. 他のインストやアクセントについても手順9～10の操作を繰り返して書き込んでいきます。

12. 書き込みが終わったら、[START/STOP] ボタンを押します。

[1] ~ [16] ボタンの見かた

[1] ~ [16] ボタンの配列は、演奏していく時間の流れどおりに（左から右に）並んでいます。この中に押されたボタンがあれば、そのステップのところまで演奏されます。書き込むときは、リズム・セレクト・ボタンではなく、ステップ・ナンバー・ボタンになります。

<p>スケールに合わないリズム・パターンの書き込みかた</p> <p>1つのプリ・スケールでは、書き込めないリズム・パターンでも、次のようにすれば書き込めます。</p> <div></div> <p>図のようなパターンを書き込んでいくとき、1小節目と3小節目はプリ・スケール3で書き込めますが、2小節目は3連符が入るため、プリ・スケール3（16ステップ）では書き込めません。そこで、この2小節目を分割し、2つの小節と考えると、1小節目はプリ・スケール1（1小節＝6ステップ）で、また2小節目はプリ・スケール3（1小節＝8ステップ）で書き込むことができます。書き込み後、この2小節を続けてプレイさせれば、譜面どおりに演奏できます。</p>
--

1stパート、2ndパートを使った録音

- ポジションをクリアーしておきます。
 - ⇒「ポジションを選んでクリアーする」**
- モード・スイッチを [PATTERN WRITE 1st PART] にセットします。
- [START/STOP] ボタンを押します。
- [PRE-SCALE] スイッチを任意の位置にセットし、[CLEAR] ボタンを押します。
- モード・スイッチを [PATTERN WRITE 2nd PART] にセットします。
- [CLEAR] ボタンを押しながら、STEP NO [1] ~ [16] ボタンを押してステップ数をセットします（1stパートからの続きのステップ）。このとき、LEDで表示しているステップの流れは、1stパートのステップ1から2ndパートでセットしたステップ数までの流れに替わります。
- モード・スイッチを [PATTERN WRITE 1st PART] にセットします。
- セレクト・スイッチでインストを選びます。
- 音を鳴らしたいステップを、STEP NO [1] ~ [16] ボタンで指定します。
- モード・スイッチを [PATTERN WRITE 2nd PART] にセットします。
- 続きのステップを、STEP NO [1] ~ [16] ボタンで指定します。
- 他のインスト、アクセントについても、手順7～11の操作を繰り返して書き込んでいきます。ステップの流れは、1stパート ↔ 2ndパートを繰り返しています。モード・スイッチを1stパートにセットしたときは、書き込めるパートは1stパートのみです。同様にモード・スイッチを2ndパートにセットしたときは、書き込めるパートは2ndパートのみです。
- 各インストの書き込みが終わったら、[START/STOP] ボタンを押します。

2ndパートの使いかた

クリアー操作によって、1stパート、2ndパートの両方がクリアーされます（このとき、1stパートは16ステップ、2ndパートは0ステップにセットされます）。2ndパートを使うときは、ステップ数をセットする必要があります。ステップ数は、1stパート、2ndパートに自由に振り分けすることができます。

※ 1stパートと2ndパートを合わせて1つのパターンになります。2ndパートだけを単独で使うことはできません。

※ 2ndパートのときも、同一ベーシック・リズム（またはイントロ／フィル・イン）内のバリエーションA,Bは、同じステップ数になります。

※ [CLEAR] ボタンを押しながら [TAP] ボタンを押すと、2ndパートのステップ数を0にできます。

パターンのランダム生成機能

- パターン書き込み／再生中に、[MENU] ボタンを押しながら [TAP] ボタンを押します。生成されたパターンは自動で書き込みられません。[MENU] ボタンを押しながら [TAP] ボタンを長押しして書き込みます。パターン・プレイ・モードのときはイントロ／フィル・インが生成されます。
 - タップ・ライト（リアルタイム・レコーディング）**
- インストごとに [TAP] ボタンでリアルタイムに録音して、パターンを作成します。
 - ポジションをクリアーしておきます。
 - ⇒「ポジションを選んでクリアーする」**
- モード・スイッチを [PATTERN WRITE 1st PART] にセットします。
- [START/STOP] ボタンを押します。
- [PRE-SCALE] スイッチを任意の位置にセットし、[CLEAR] ボタンを押します。
- セレクト・スイッチで、メトロノームとして使うインストを選びます（たとえばRS:リム・ショット）。
- 拍の頭になるSTEP NO [1] ~ [16] ボタンを押します（メトロノームを鳴らすステップ）。
- セレクト・スイッチで、**タッピング**で書き込むインストを選びます。
- 入力したいタイミングで [TAP] ボタンを叩きます。

タッピングと同時に叩かれたタイミングに一番近いステップ・ナンバーのLEDが点灯します。

9. 他のインストやアクセントについても手順7～8の操作を繰り返して書き込んでいきます。

10. 書き込みが終わったら、手順5で選んだインストをもう一度選び、メトロノームとして鳴らしていた音を消します。

11. [START/STOP] ボタンを押します。

メモリー
<div> <div></div> <div>同じベーシック・リズム（またはイントロ／フィル・イン）内のAとBは、同じステップ数、プリ・スケールになります。</div> </div>

インストのミュート・ソロ

インストのミュート

- [BANK/TEMPO/SHUFFLE] ボタンを押しながら [TRIGGER OUT] ボタンを押します。
- [BANK/TEMPO/SHUFFLE] と [TRIGGER OUT] ボタンを押したまま、[2] ~ [12] でミュートするインストを選びます。

インストのソロ

- [BANK/TEMPO/SHUFFLE] ボタンを押しながら [TRIGGER OUT] ボタンを押します。
- [BANK/TEMPO/SHUFFLE] と [TRIGGER OUT] ボタンを押したまま、[TAP] で [SOLO] を選びます。
- [BANK/TEMPO/SHUFFLE] と [TRIGGER OUT] ボタンを押したまま、[2] ~ [12] でSOLOにするインストを選びます。

パターンをコピーする

※ コピー操作中は [TAP] ボタンを押したまま操作してください。[TAP] ボタンを離すとキャンセルになります。

- モード・スイッチを [1stPart] または [2ndPart] にします。
- コピー先のパターンを選んだ状態で [TAP] ボタンを押したままにします。
- （[TAP] ボタンを押したまま）[1] ~ [16] のボタンを押してコピー元のパターンを選びます。
- （[TAP] ボタンを押したまま）[START/STOP] ボタンを押すと、コピーを実行します。

パターンを A-B 間でコピーする

- モード・スイッチを [1stPart] または [2ndPart] にします。
- コピーしたいパターンを選んだ状態で [TAP] ボタンを押したままにします。
- （[TAP] ボタンを押したまま）[VALUE] つまみで表示を " A-b" または " b-A" にします。
- （[TAP] ボタンを押したまま）[START/STOP] ボタンを押すと、コピーを実行します。

リズム・トラックの録音／再生

コンポーズについて

書き込んだリズム・パターンを順々に切り替えて演奏させながら、コンポーズ（組み立て）していきます。

メモリー（記憶）について

トラックは、演奏されるリズム・パターンをそのまま記憶するのではなく、演奏させるリズム・パターンが書き込まれているリズム・セレクト・スイッチ（ベーシック・リズム、イントロ／フィル・イン）の番号と、その小節数と、演奏される順番を、1小節単位で記憶していきます。トラック・プレイ時には、コンポーズ時どおりのベーシック（または1/F）バリエーション・スイッチの切り替えが必要です。

小節を移動する

- [START/STOP] ボタンを押しながら、[1] ~ [10] ボタンを押して移動先を選びます。[16] ボタンを押すと、最終小節に移動します。
- [START/STOP] ボタンを離すと確定します。[FINE] (VALUE) つまみを回して選ぶこともできます。

リズム・トラックのコンポーズ

トラックのセレクト／クリア

- ストップ状態でモード・スイッチをリズム・トラックの [COMPOSE] にセットします。
- セレクト・スイッチを任意の位置にセットします。
- [CLEAR] ボタンを押します。

コンポーズ（コンポーズ・モードが [DrG] の場合）

- 1小節目をセットし、[START/STOP] ボタンを押します。リズムがスタートします。
- リズム音を聞きながら、BASIC RHYTHM [1] ~ [12] ボタン（またはINTRO/FILL IN [1] ~ [4] ボタン、[TAP] ボタン）を切り替えていきます。
- コンポーズする最後の小節が演奏されたら、この小節が終わるまでに [START/STOP] ボタンを押します。リズムが停止します。音が途切れても小節の最後まで記憶されています。[START/STOP] ボタンが押された小節が最後の小節になります。

コンポーズしたリズム・パターンの一部（小節）を修正する

- セレクト・スイッチでトラックを選び、[START/STOP] ボタンを押します。
- 修正したい小節が演奏されると同時に修正するリズム・パターンに切り替えます。
 - フィル・イン・リズムを修正するときは、[TAP] ボタンを使わずにイントロ／フィル・イン・スイッチで切り替えます。
 - コンポーズしたリズム・パターンの小節数だけを換えることはできません。小節数を変えるときは、もう一度最初からコンポーズしてください。

小節をコピーする（Copy）

※ コピー操作中は [TAP] ボタンを押したまま操作してください。[TAP] ボタンを離すとキャンセルになります。

- コピー先の小節で [TAP] ボタンを押したままにします。

画面に [COPY] と表示されます。

例：5小節を選ぶと、4小節と5小節の間にペーストされます。

- （[TAP] ボタンを押したまま）[START/STOP] ボタンを押して、コピー元の開始小節を選びます。画面表示は小節番号になります。[1] ~ [10] ボタンか [VALUE] つまみで選びます。[16] ボタンを押すと最終小節を選びます。
- （[TAP] ボタンを押したまま）[START/STOP] ボタンを押して、コピー元の終了小節を選びます。[1] ~ [10] ボタンか [VALUE] つまみで選びます。[16] ボタンを押すと最終小節を選びます。
- （[TAP] ボタンを押したまま）[START/STOP] ボタンを押すと、コピーを実行します。

小節を挿入する（Ins）

※ Ins 操作中は [TAP] ボタンを押したまま操作してください。[TAP] ボタンを離すとキャンセルになります。

- 挿入先の小節で [TAP] ボタンを押しながら [VALUE] つまみで表示を [Ins] にします。例：5小節を選ぶと、4小節と5小節の間に挿入されます。
- （[TAP] ボタンを押したまま）[START/STOP] ボタンを押して、挿入元の小節を選びます。画面表示は小節番号になります。[1] ~ [10] ボタンか [VALUE] つまみで選びます。[16] ボタンを押すと最終小節を選びます。
- （[TAP] ボタンを押したまま）[START/STOP] ボタンを押すと、挿入を実行します。

小節を削除する（Del）

※ Del 操作中は [TAP] ボタンを押したまま操作してください。[TAP] ボタンを離すとキャンセルになります。

- 削除したい小節で [TAP] ボタンを押しながら、[VALUE] つまみを回して [dEL] を選びます。
- （[TAP] ボタンを押したまま）[START/STOP] ボタンを押して、終了小節を選びます。画面表示は小節番号になります。[1] ~ [10] ボタンか [VALUE] つまみで選びます。[16] ボタンを押すと最終小節を選びます。
- （[TAP] ボタンを押したまま）[START/STOP] ボタンを押すと、削除を実行します。

コンポーズ（コンポーズ・モードが [STEP] の場合）

- コンポーズするトラックを選び、クリアーしておきます。
 - ⇒「トラックのセレクト／クリアー」**
- [START/STOP] ボタンを押します。リズムがスタートします。
- BASIC RHYTHM [1] ~ [12] ボタン（またはINTRO/FILL IN [1] ~ [4] ボタン）でリズム・パターンを選びます。
- [TAP] ボタンを押して、小節を進めます。
- 手順3～4の操作を繰り返します。
- コンポーズする最後の小節を入力したら、[START/STOP] ボタンを押します。

リズム・トラックのプレイ

- モード・スイッチをリズム・トラックの [PLAY] にセットします。
- ベーシック／バリエーション・スイッチを1小節目の位置にセットします。
- [START/STOP] ボタンを押します。
- 最後の小節が終わったら [START/STOP] ボタンを押します。停止するまで繰り返し演奏を続けます。

リズム・トラックを切り替えたとき

トラック・プレイ時にセレクト・スイッチを切り替えたときは、演奏中のリズム・パターンを最後まで演奏してから切り替えたトラックの1小節目に移ります。

メニュー・モード

- [MENU] ボタンを押します。
- [VALUE] つまみで項目を変更します。
- [TAP] ボタンを押します。[TAP] ボタンを押すたびに項目選択／値変更が切り替わります。

項目（パラメーター）	値	説明
<i>COMP</i> (COMP)	<i>0 ~ 100</i>	BDとSDにかけるコンプレッサー・レベルを調節します。
<i>GA In</i> (GAIN)	<i>0 ~ 200</i>	ゲインを調節します。インストを [2] ~ [12] ボタンで選びます。
<i>tUNE</i> (TUNE)	<i>- 128 ~ 127</i>	各インストのチューニング（ピッチ）を調節します。BD、RS、CP、CB、OH、CHの設定ができます。
<i>dECY</i> (DECAY)	<i>- 128 ~ 127</i>	余韻の長さを調節します。SD、LT、MT、HT、RS、CP、CB、CHの設定ができます。
<i>PRN</i> (PAN)	<i>L64 ~ C0 ~ r63</i>	各インストのパン（左右の定位）を調節します（L64～C0～R63）。
<i>bd</i> (BD TYPE)	<i>nrn, L.dCY</i>	BDのタイプを選びます（Normal、Long Decay）。
<i>HLnL</i> (HiHat Link)	<i>OFF, On</i>	Onにすると、OHとCH（TuneとLevel）がリンクします。リンクするとCH側の設定は無視されます。
<i>CH</i> (MIDIチャンネル)	<i>1 ~ 16, OFF</i>	MIDI 送受信チャンネルを設定します。
	<i>RuLd</i>	MIDI IN 端子またはUSB 端子からMIDIクロックが入力されたとき、自動的にMIDIクロックにテンポが同期します。MIDI IN 端子とUSB 端子から同時にMIDIクロックが入力されたときは、USB 端子が優先されます。
<i>SYnC</i> (MIDIクロック・ソース)	<i>InL</i>	本体で設定したテンポで動作します。外部機器と同期したくないときは、この設定にします。
	<i>n id ,</i>	MIDI IN 端子から入力されたMIDIクロックにテンポが同期します。
	<i>USb</i>	USB 端子から入力されたMIDIクロックにテンポが同期します。

項目（パラメーター）	値	説明
<i>tHrU</i> (ソフト・スルー)	<i>OFF, On</i>	MIDI IN 端子から入力した情報を、MIDI OUT 端子に出力する（On）か、しない（OFF）かを設定します。
	<i>OFF</i>	自動的に電源が切れません。
<i>R.OFF</i> (オート・オフ)	<i>30</i> (分)	30分経つと自動で電源が切れます。※ USB 接続時はオート・オフしません。
<i>dENO</i> (LED デモ)	<i>OFF, 1, 3, 10</i> (分)	LED デモに入るまでの時間を設定します。
	<i>DrG</i>	TR-808と同じ操作で録音します。スタートすると小節が進んでいくので、それに合わせてパターンを切り替えて録音していくモードです。
<i>PrGn</i> (コンポーズ・モード)	<i>STEP</i>	TR-909のような操作で録音します。スタートした状態でパターンを選びます。[TAP] ボタンを押すと、現在の小節に選んだパターンを書き込み、次の小節に進みます。
<i>t.Prn</i> (トラック・パラメーター)	<i>RuLd, OFF</i>	テンポ／シャッフルをトラック選択時に自動で呼び出します。
<i>LvLc</i> (レベル・カーブ)	<i>nrn, SPL</i>	[LEVEL] つまみのカーブを設定します。設定後に [LEVEL] つまみを動かすと、レベル・カーブの設定が反映されます。
<i>USbD</i> (USB MIXアウトブック)	<i>OFF, On</i>	各インストをUSB MIXから出力するか／しないかを設定します。[2] ~ [12] ボタンを点滅させたインストは出力し、点灯させたインストは出力しません。
	<i>OUT</i> (バラ・アウト)	OUTPUT 端子（ステレオ・ミニ）の出力を左右チャンネルに分けて、設定したサウンドをバラ・アウトします。設定時に[2]～[12]ボタンを点滅させたサウンドを右チャンネルから、点灯させたサウンドを左チャンネルからバラ・アウトします。 <ul style="list-style-type: none">ステレオで出力するときは、すべてのボタンを点灯させてください。

4. [VALUE] つまみで設定値を変更します。

5. 設定が終わったら [MENU] ボタンを押して MENU を抜けます。

テンポを変更する

1. [TEMPO] つまみを回します。

※ [BANK/TEMPO/SHUFFLE] ボタンを押すとファイン・テンポの設定に変わります。もう一度押すと通常のテンポ設定に戻ります。

テンポ／シャッフルの記憶・呼び出し

トラックにテンポとシャッフルを記憶させることができます。

テンポ／シャッフルの呼出し

- モード・スイッチが [PLAY] または [COMPOSE] の状態で、[BANK/TEMPO/SHUFFLE] ボタンを押しながら [TAP] ボタンを押します。
 - Track Param が Auto のときはトラック選択時に自動で呼び出されます。

テンポ／シャッフルの記憶

- モード・スイッチが [COMPOSE] の状態で、[BANK/TEMPO/SHUFFLE] ボタンを押しながら [TAP] を長押しします。

バッテリー動作固定モード

USB ポートに接続しても、バス電源に切り替わらないモードです。電源供給能力のないUSBポートでもご使用になることができます。

- [9] ボタンを押しながら電源を入れます。

主な仕様

ローランド TR-08：リズム・コンポーザー	
電源	充電式ニッケル水素電池（単3形）×4、アルカリ電池（単3形）×4、USB バス電源
消費電流	500mA（USB バス電源）
外形寸法	308（幅）×130（奥行）×51（高さ）mm
質量	1.3kg（電池、ブティック・ドック含む）
付属品	ブティック・ドック：DK-01、取扱説明書、DK-01 取扱説明書、安全上のご注意チラシ、保証書、ローランド ユーザー登録カード、アルカリ電池（単3形）×4

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

知的財産権について

製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイルデータ、伴奏パターン、フレーズデータ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をするに関しては、当社の許諾を必要としません。製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。